

《報 告》

## 放射性医薬品副作用事例調査報告 第 27 報

(平成 16 年度 第 30 回調査)

(社) 日本アイソトープ協会 医学・薬学部会 放射性医薬品安全性専門委員会

日下部きよ子\*<sup>1</sup> 岡村 光英\*<sup>2</sup> 笠木 寛治\*<sup>3</sup> 駒谷 昭夫\*<sup>4</sup>

佐藤 幸光\*<sup>5</sup> 松田 博史\*<sup>6</sup> 丸野 広大\*<sup>7</sup>

要旨 本調査は、平成 16 年度に投与された放射性医薬品に関連して発生した副作用事例ならびに不良品事例の発生頻度とその内容を調べる目的で実施された。調査は、調査票を核医学診療施設に送付して回答を求めるアンケート方式で実施した。調査対象 1,220 施設のうち、968 施設より回答が得られた。副作用事例は 16 件報告された。放射性医薬品の投与件数は 1,277,906 件であった。副作用発生率は 100,000 件あたり 1.3 件であった。不良品事例は 8 件報告され、発生率は 100,000 件あたり 0.6 件であった。

(核医学 43: 23-35, 2006)